

令和7年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局	石狩
-----	----

北海道札幌月寒 高等学校	定時制課程
--------------	-------

学科	普通 科
----	------

学級数	第1学年	1
	第2学年	1
	第3学年	1
	第4学年	1

教科	学年		1 年		2 年		3 年		4 年
	科目・標準単位数	類型	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース
国語	現代の国語	2	3	3	1	1			
	言語文化	2			1	1	2	2	
	論理国語	4							
	文学国語	4							
	国語表現	4							4
	古典探究	4							
地理歴史	地理総合	2			2	2			
	地理探究	3							
	歴史総合	2					2	2	
	日本史探究	3							
	世界史探究	3							
公民	公共	2	2	2					
	倫理	2				※1 2			
	政治・経済	2						※2 2	3
数学	数学Ⅰ	3	3	3	3	3			
	数学Ⅱ	4							
	数学Ⅲ	3							
	数学A	2					2	2	2
	数学B	2							
	数学C	2							
理科	科学と人間生活	2	2	2					
	物理基礎	2						※2 2	
	物理	4							
	化学基礎	2			2	2			
	化学	4							
	生物基礎	2					2	2	3
	生物	4							
	地学基礎	2				※2 2			
保健体育	地学	4							
	体育	7～8	2	2	2	2	2	※3 3	2
芸術	保健	2	1	1	1	1			
	音楽Ⅰ	2					2┌	2┌	
	音楽Ⅱ	2					└─ 2	└─ 2	
	音楽Ⅲ	2							
	美術Ⅰ	2					2┌	2┌	
	美術Ⅱ	2							
	美術Ⅲ	2							
	工芸Ⅰ	2							
	工芸Ⅱ	2							
	工芸Ⅲ	2							
	書道Ⅰ	2				※1 2			
	書道Ⅱ	2							
	書道Ⅲ	2							
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3	2	2			
	英語コミュニケーションⅡ	4					2	2	2
	英語コミュニケーションⅢ	4							
	論理・表現Ⅰ	2						※1 2	
	論理・表現Ⅱ	2							
	論理・表現Ⅲ	2							
家庭	家庭基礎	2			2	2			
	家庭総合	4						※1 4	
情報	情報Ⅰ	2					2	2	
	情報Ⅱ	2							
理数	理数探究基礎	1							
	理数探究	2～5							

B 表

(裏 面)

北海道札幌月寒 高等学校			定時制課程		学科	普通 科			
教科	学年		1 年		2 年		3 年		4 年
	科目・標準単位数	類型	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース	3年次卒業コース	4年次卒業コース
商業	ビジネス基礎	2～4	2	2	2	2			
	簿記	2～4					2	2	2
○総合	○ボランティア	3				※4 0～3		※4 0～3	
	○企業実習	3				※4 0～3		※4 0～3	
各学科に共通する各教科・科目の計			16	16	16	16～22	16	17～27	16
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			2	2	2	2	2	2	2
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0～3	0	0～3	0
総合的な探究の時間		3～6	1	1	1	1	1	1	1
日本語指導		4～8	※5 4	※5 4	0	0	0	0	0
合 計			19～23	19～23	19	19～28	19	20～33	19
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1
備 考			注1 3年次卒業コースでは、通信制課程の科目(※1)から、2年次に4単位まで、3年次に6単位まで履修することができる。						
			注2 3年次卒業コースでは、高等学校卒業程度認定試験の試験科目(※2)から、2年次に2単位まで、3年次に4単位まで履修することができる。						
			注3 3年次卒業コースでは、3年次の体育(※3)・3単位のうち1単位は定通併修(通信制課程)の科目により履修する。						
			注4 3年次卒業コースでは、実務代替及び社会参加活動等による科目(※4)から、2年次又は3年次にそれぞれ3単位まで履修することができる。						
			注5 修業年限3年で卒業するためには、3年次終了までに※1～※3の科目及び学校外における学修の単位認定により17単位以上修得していることが必要である。						
			注6 ※5および※6の科目は、日本語指導が必要な生徒のみを対象とし、日本語能力の向上及び日本語で各教科等の学習活動に参加できる能力の養成を目的とする指導に特化して行われる。						

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。